



編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

高橋 ちづ子
智子
いわぶち友
国会議員連絡所
鶴岡市美原町16-5
☎ 22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所
関 徹
長者町11-26
24-2414
加藤 一
宝徳 仲田56
64-3941
菅井 巖
中 楯 9 6
33-0534
坂本 昌栄
稲生2-33-47
24-5993
山田 守
宝田1-9-1-31
23-6548
長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

新型コロナウイルス 影響対策 国保税減免の概要公表

申請書はダウンロードまたは郵送で入手

鶴岡市は6日、新型コロナウイルスの影響に係る国民健康保険税の減免概要について公表しました。

市では厚労省の通知の基準により減免するとしています。

申請方法について

減免の申請は国保税納税通知書が届いた後に、鶴岡市ホームページから申請書をダウンロード及び印刷し、必要事項を記入し、添付書類と合わせて原則郵送での申請となります。

減少した収入を証明するもので、

●世帯の主たる生計維持者の令和2年1月からの収入が確認できる書類の写し
(給与明細書、売上台帳など収入と必要経費が確認できるもの)

申請期限は

令和3年3月31日まで(必着)となっています。保険料は一旦納付し減免確定後に還付されます。

添付書類は

窓口、「申請書提出用ポスト」も用意され投函も可能です。

市役所2階課税課の

ど)

●令和元年分確定申告書または令和2年度市民税申告書の写し、令和元年分の源泉徴収票など(収入額の記載のあるもの)
廃業や失業、死亡、重篤な書病などの場合は、必要となる書類があります。

減免の決定まで時間を要する場合がありますため、徴収猶予について

は納税課に相談してください。

ジェネリック医薬品

使用全国の市で7位

市は「希望シール」差額通知を提供

鶴岡市のジェネリック医薬品(後発医薬薬品)の使用割合は、全国の市(区)のランキングで上位7位となり、国保医療費の節減に貢献しています。

国保新聞7月1日付で取り上げられています。

全国平均の使用割合は74・9%で、市の高は岩手県久慈市の88・8%。本市は7番目で86・9%です。

国保新聞には、「鶴岡市の担当者によると、市では保険証を渡す際に、後発医薬品希望シールを一緒に渡して説明している。加えて『差額通知を年3回発送しており、この効果もある』と見解を示した。

順位	市(区)	割合	順位	市(区)	割合
1	久慈市(岩手県)	88.8%	11	奄美市(鹿児島県)	85.9%
2	石垣市(沖縄県)	88.4%	12	南九州市(鹿児島県)	85.9%
3	名護市(沖縄県)	88.1%	13	旭市(千葉県)	85.8%
4	赤平市(北海道)	87.8%	14	陸前高田市(岩手県)	85.6%
5	豊見城市(沖縄県)	87.2%	15	伊佐市(鹿児島県)	85.5%
6	浦添市(沖縄県)	87.0%	16	糸満市(沖縄県)	85.5%
7	鶴岡市(山形県)	86.9%	17	糸魚川市(新潟県)	85.4%
8	南城市(沖縄県)	86.3%	18	枕崎市(鹿児島県)	85.2%
9	宜野湾市(沖縄県)	86.3%	19	北秋田市(秋田県)	85.1%
10	嬉野市(佐賀県)	86.2%	20	那覇市(沖縄県)	85.1%

【国民健康保険税の減免の対象となる方】

- ①新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負った世帯の方
⇒ 保険税を全額免除
- ②新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入減少(※)が見込まれる世帯の方
⇒ 保険税の一部を減額

※国民健康保険税が一部減額される具体的な要件

世帯の主たる生計維持者について

- (1) 事業収入や給与収入など、収入の種類ごとにみた収入のいずれかが、前年に比べて10分の3以上減少する見込みであること
- (2) 前年の所得の合計額が1000万円以下であること
- (3) 収入減少が見込まれる種類の所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること

注：申請にあたっては、収入を証明する書類が必要となります。

【減免の対象となる保険税】

令和2年2月1日から令和3年3月31日までに納期限が設定されている国民健康保険税

○減免額は、減免対象保険税額(A×B/C)に減免割合(D)をかけた金額です。

減免対象の保険税額(A×B/C)

- A:世帯の被保険者全員について算定した保険税額
- B:世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる収入にかかる前年の所得額
- C:主たる生計維持者及び世帯の被保険者全員の前年の合計所得金額

前年の合計所得金額に応じた減免割合(D)

- 300万円以下の場合：全部(10分の10)
- 400万円以下の場合：10分の8
- 550万円以下の場合：10分の6
- 750万円以下の場合：10分の4
- 1,000万円以下の場合：10分の2

※主たる生計維持者の事業等の廃止や失業の場合には、前年の合計所得金額にかかわらず、対象保険税の全部を免除します。

駅前・商店街の活用

まちづくりについて協議

城下のまち鶴岡将来構想策定委

第1回城下のまち鶴岡将来構想策定委員会が1日、開かれました。

委員会では、①庄内藩政以来の歴史文化資源の保存継承、②駅前から鶴岡公園までの将

来構想の2項目を議論することとしています。

皆川治市長が挨拶し、「時代の変化とともに、

温海地域で乗合タクシー試験運行

公共交通活性化協議会 障害者・高齢者・免許返納者などに割引

第1回鶴岡市公共交通活性化協議会が6月30日開かれました。報告では、藤島、西郷、朝日、羽黒、櫛引の各地域での公共交通の確保維持活性化の市民協働の取り組みが報告されました。

バス減少に伴う路線バスの縮小を踏まえ、地域住民の移動手段を確保すること目的に、道路運送法に基づく乗合タクシーの試験運行を実施することが報告されました。

この試験運行では、乗合タクシーが温海地域に適用しているかの調査検討を実施し、より持続性のある移動手段を構築していくと述べています。

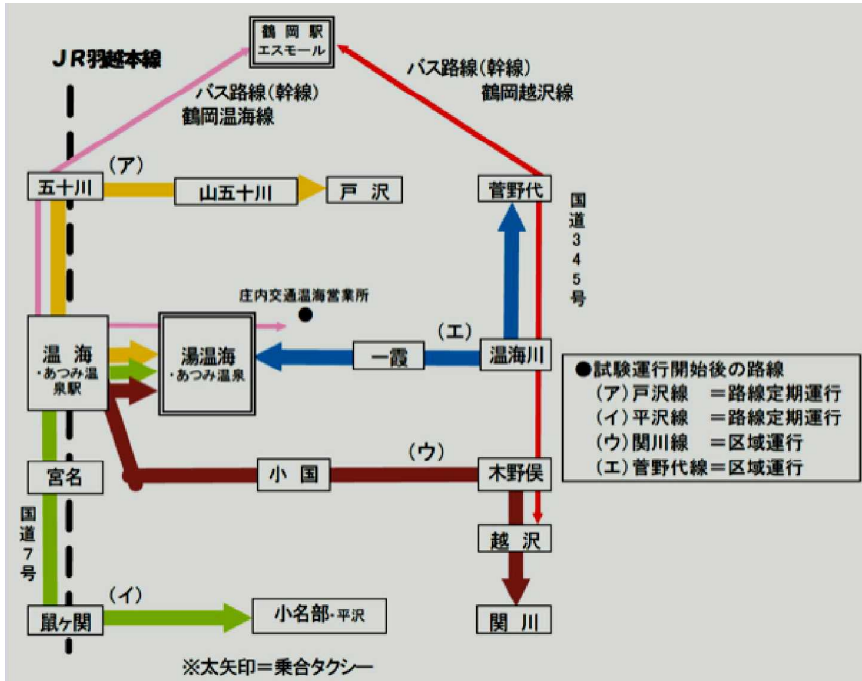
試験運行の開始に合わせ、既存の庄内交通のバス路線「戸沢線」「平沢線」「関川線」「越沢関川線」が廃止され、「鶴岡温海線」及び「鶴岡越沢線」は継続されます。

乗合タクシー試験運行は、時刻表、ルート、乗降場所を定めて運行します。

運賃は、同一ゾーンの乗降は200円（それ以外は400円を予定）、障害者及び小学生は半額割引、未就学児は全額割引、高齢者用定期（ゴールドパス）と自動車運転免許証返納者割引定期券を持っている人は全額割引となります。

試験運行は10月1日から開始される予定です。

山田守、長谷川剛議員が傍聴しました。



建築課入札結果（ ）内は予定価格

7月2日入札分

- ・三瀬コミュニティセンター改修機械設備工事（三瀬字堅田138-8）（入札1業者）
（株）板垣水道 19,500,000円（19,690,000円）工期～10/30（落札率99.04%）
- ・羽黒コミュニティセンター高圧受変電設備更新工事（羽黒町荒川字谷地堰28）（入札14業者）
鶴岡ハクヨウ電機（株） 7,900,000円（8,600,000円）工期～11/12（落札率91.86%）

消防本部警防課入札結果（ ）内は予定価格

7月2日入札分

- ・藤岡地内耐震性貯水槽新設工事（藤岡字東柳田38-3）（入札4業者うち1業者辞退）
（株）ヤマムラ 7,500,000円（7,654,000円）工期～11/6（落札率97.99%）
- ・下川地内耐震性貯水槽新設工事（下川字窪畑204-321）（入札11業者）
（株）山本組 9,400,000円（9,726,000円）工期～11/6（落札率96.65%）

雨水事務室入札結果（ ）内は予定価格

6月29日入札分

- ・市公共下水道事業 雨水茅原第1幹線路面復旧工事（宝田三丁目地内）（入札7業者）
（株）マルゴ 10,200,000円（10,617,000円）工期～8/27（落札率96.07%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

7月6日入札分

- ・市集落排水事業 羽黒中央地区管路施設15～22号路面復旧工事（羽黒町狩谷野目地内ほか）（入札5業者うち1業者欠席）
（株）丸元建設 10,350,000円（10,586,000円）工期～10/30（落札率97.77%）

7月3日入札分

- ・市集落排水事業 羽黒中央地区荒川24号移設工事（羽黒町荒川地内）（入札3業者うち2業者辞退）
（株）鈴木工務店 3,980,000円（4,233,000円）工期～10/16（落札率94.02%）

7月1日入札分

- ・市公共下水道事業汚水1号幹線高専前マンホールポンプ改良工事（井岡地内）（入札8業者うち3業者辞退）
有賀建設（株） 45,500,000円（47,168,000円）工期～3/1/22（落札率96.46%）

- ・公共下水道事業 汚水210049～N C 20号路面復旧工事（千安京田ほか地内）（入札6業者）
（株）佐藤工務 57,400,000円（58,630,000円）工期～10/30（落札率97.90%）

6月29日入札分

- ・市公共下水道事業 汚水柝屋幹線系下小中地区ほか管渠詳細設計業務（下小中地内ほか）（入札10業者）
プレスタッフ（株） 24,800,000円（25,272,000円）期間～3/3/22（落札率98.13%）

- ・市公共下水道事業 汚水柝屋幹線系清水新田地区ほか管渠詳細設計業務（清水新田地内ほか）（入札10業者）
（株）鈴木久測量設計事務所 32,800,000円（33,272,000円）期間～3/3/22（落札率98.58%）

6月26日入札分

- ・鶴岡市集落排水事業 羽黒中央地区荒川24号移設工事（羽黒町荒川地内）中止

水道課入札結果（ ）内は予定価格

7月6日入札分

- ・令和2年度取・送水ポンプ更新工事（板井川地内ほか）（入札5業者うち1業者辞退）
日栄産業（有） 13,680,000円（14,100,000円）工期～12/10（落札率97.02%）

（1面のつづき）

鶴岡らしい町のあり方を議論し検討していきたい。課題となっている駅前、中心商店街、旧ジャスコ跡地の活用など、委員会を通じて結論を出したい」と述べました。

学識経験者や関係団体の代表らが委員となり、委員長には上木勝司（鶴岡市都市計画審議会長）氏が選出され、今後計5回の委員会を予定し、2021年8月に素案を提案する予定です。

当局から、駅前地区の現状と構想の概要について報告され、その後協議となりました。各委員からは、

「駅前には玄関口で、ホテルや土産物など観光機能の集積と、北側の工業と研究機関の集積はあるが、羽越線の

利用者の減少や空港とのアクセスが悪く、観光バスの発着も悪い。

観光の拠点軸としてバスの受け入れや空港へのアクセスの検討を」、「農業が基幹産業の本市であり、コメ作りは地域の隆盛を担っていくと考えられる。コロナ禍において食糧が注目され、流通では保管倉庫の役割が大変重要だ」、

「昔どおり商業として栄えることは現実離れであり、拠点のあり方として観光に頼るのは危ない。市民の憩いの場も必要では」、「コロナ禍でも回していける社会を。これ以上田んぼをつぶして開発するのはやめたほうが良い」など多様な意見が出されました。

長谷川剛市議が傍聴参加しました。

山田守、長谷川剛議員が傍聴しました。